



地域・社会

産業廃棄物の処理業を営むには、事業所の近隣住民の皆様の理解が欠かせません。積極的な対話や交流に努めるとともに、地域の活性化につながる社会貢献に取り組んでいます。



地域社会との良好な関係づくり

地域社会の一員として、適正な事業活動を展開して、地域の環境汚染や事故を防止するとともに社会全体から信頼いただける企業を目指した取り組みを推進しています。

工場見学会の実施

当社では、廃棄物排出業者であるお客様を中心に随時工場見学会を開催しており、2017年度は1,142社2,000名が来場されました。来場者の皆様には工場内の安全状態や従業員の態度などを評価するアンケートに協力いただき、関係者へフィードバックし、必要に応じて社内に掲示し社員へ周知しています。取引先の企業様以外にも、毎年、近隣にお住まいの方々や臭気モニターを招いての住民見学会を実施し、周辺環境の意見交換をしたり設備改善や消臭剤による環境配慮の取り組みをご説明しています。

2017年度は市内大学に在籍する学生約40名が学業の一環として見学に来場、また国外からの依頼に応じてJICA等の外国人研修員の見学にも協力しました。



中国大連からのご来場者
(関東事業所)



北九州国際技術協力協会の
研修協力(九州事業所)



市内大学生の見学会
(名古屋事業所)



臭気モニター情報交換会
(北陸事業所)

環境保護推進地域への支援

2016年より「全国オイルリサイクル協同組合 森とアースへのECO-プロジェクト推進チーム」に参加しています。本団体を通して植林などの森林保全に取り組む全国の「環境モデル都市」を支援することにより、地球温暖化の抑制に貢献しています。

2017年度は埼玉県秩父市、東京都檜原村、岐阜県御嵩町、兵庫県宍粟市、熊本県小国町の5町村と団体が連携し、各地の実情に応じた森林保全活動を実施しました。また、森づくりの結果として生じるCO₂吸収量をカーボン・クレジットとして確保しており、今後廃油リサイクル事業において排出されるCO₂のオフセット等の取り組みが実施される予定です。



岐阜県御嵩町における森林施業

地域での環境保全協定の締結

当社は以下の事業所で、地方公共団体や自治会、漁業協同組合などと環境保全協定あるいは公害防止協定を締結しています。2017年度も違反事項はありませんでした。

- 名古屋事業所：名古屋市港区船見町※1
- 北陸事業所：白山市、白山市相川新町、村井新町※1
- 関西事業所：明石市、明石市二見町※1※2、加古郡播磨町※2
- 関東事業所：佐野市、佐野市黒袴町、西浦町※1
- 千葉事業所：袖ヶ浦市

※1 域内の自治会と締結。 ※2 関連漁業協同組合と締結。

各事業所での取り組み

事業所近隣の住民の皆様との対話に努めるとともに、地域の活性化や子どもたちの育成、スポーツの振興を目的とするイベントに協賛しています。

清掃・美化活動

関西事業所の従業員10名が神戸市の舞子公園へ赴き、兵庫県産業廃棄物協会が主催する清掃ボランティアに参加しました。当社以外にも多数の企業が参加しており、有志一丸となって地域の公園を清掃しました。

北陸事業所では水路清掃および近隣海岸の清掃を年一回、事業所周辺のごみ拾いを毎月実施しており、周辺地域の景観の保護に努めています。



神戸市舞子公園の清掃ボランティアに参加(関西事業所)



事業所周辺のごみ拾い(北陸事業所)

協賛活動

名古屋事業所では在日米商工会議所中部支部が主催するイベント「チャリティ・ウォーカーソン」、市民フルマラソン「ナゴヤアドベンチャーマラソン」に継続的に協賛しています。

九州事業所では地域のスポーツ振興のため、北九州マラソン、車いすバスケットボール大会に協賛しています。



「チャリティ・ウォーカーソン」に協賛(名古屋事業所)

献血への協力

関東事業所では2015年12月以降、栃木県赤十字血液センターと連携をとりながら献血に協力しています。年間2回、専用バスが来所し、毎回10名程度の従業員が参加しています。



献血の様子

安全な地域づくり

関東事業所では、近隣のスーパーマーケットと協力し、交通安全運動に参加しました。車通りの多い場所でのぼり旗を持って立哨(りっしょう)し、街の交通事故予防に努めました。



立哨(りっしょう)による交通安全運動

地域への寄贈

千葉事業所では所在する袖ケ浦市で緑のカーテン作り講習会およびカーテンコンテストが開催されるにあたり、ゴーヤの種10袋を寄贈しました。種は市で苗に育てていただき、緑のカーテン講習会参加者、無料配布申込者、市内公共施設等に配られました。

VOICE 従業員から

自治体からの要望に応え、学生さんたちを工場へ案内しました

関東事業所では、所在する栃木県からの依頼で、県職員を希望する学生さんに向けた工場見学を実施しました。限られた時間内に廃棄物の処理や様々な法規制との関連について理解してもらうのは簡単なことではありませんでしたが、実際の受入れ業務やサンプル分析を見学してもらい、少しでも産廃処理施設の必要性や安全への配慮を理解してもらえたと思っています。産廃処理施設というのは普段の生活からは想像し難いものですが、世の中に必要不可欠な存在です。今後もこういった活動に積極的に協力することで地域との連携を深め、より多くの方々に当社や資源リサイクルのことを知りたいと思っています。



関東事業所
副工場長
小林 洋介



工場見学ツアー(関東事業所)